

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・活動の内容によってスペースが取れない時もあるため、時間やチーム分けで確保している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・常にあるMTで部屋の使い分けやスタッフの配置を見直すことができている。ただ、実行に移せていない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・出来る限り安全に過ごせるよう配慮はしているが、小さな段差があったりもするため、声かけなどを行っている。 ・部屋ごとに表札をかけている。物配置も子どもでも分かるようにケースを置いてラベリングしている。 ・視覚的にわかりやすい工夫はできているが、個人の特性に応じた支援や療育内容を充実させていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・活動内容に合わせて空間を作るように努めている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・場所を使用するときは、必ず1人職員が見守るようにしている。 ・部屋数は足りているがそこへの使い方などは明確になっていないため、まずはそこから。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・職員MT、パートMT、朝礼、終礼を行い、問題があったときは次のMTで話し合っている。 ・職員の目標や利用者の目標を月間でつくりPDCAを回している。 ・月の目標を定めているが、全員が意識して声かけや実戦はできていない。 ・振り返りが十分にできていないため、日々の生活から振り返りをしっかり行いたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・保護者様とお話しする機会が少ない。もっと意見を聞けるよう積極的に交流を図っていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・さまざまな研修で学びが深まるのでありがたい。他の放デイさんとかと横の繋がりを持てるものを探したい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・出来る限りかたよがないように工夫している。

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対しての保護者様面談ができていない。事前にペーパーでの聞き取りなどを行なっているが、対面で行う時間を今後検討していきたい。 ・もっとできることはあると思うので、工夫を重ねていきたい。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人一人が子どもの日々の行動を観察している。いつもと違った行動などあれば全体で話をするようにしている。 ・ツールを用いてアセスメントはできていない。 ・観察の視点が共通のものになっていない。児童の理解に使う時間が少なすぎる。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的なものが多くて、日々の中で何ができるのかが不明瞭なことがある。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各活動を横断的に組んでいる。例えばものづくりで作った靴箱をアートで色付けするなど。 ・完全に担当制になっている。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・決められた活動の形を徐々に変えることができる。5個の活動に8個追加した。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝朝礼を行い、その中で打ち合わせをしている。 ・内容の共有はできているが、担当や役割分担はできていない。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日終礼を行い、その中で振り返りを行っている。 ・終礼時にできる時もあるが、内容の薄さを感じる。子どもの様子だけでなく、支援についても振り返れば療育の質の向上にも繋がると思う。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな活動の中で、自分が何をするのかを選択させることを意識している。例えば調理で何を担当するかなど。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	

関係機関 や保護者との 連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	・就労A・Bや学校との連携はできているが、それ以外はできていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	・春日原新規利用で就学前の利用者がいなかったのもあるため、情報共有のやりとりをしたことがない。 ・新一年生が多くないことから、できていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	・今年初めての卒業生となるため、出来る限りの情報提供を行いたい。 ・まだ卒業する子がいないのでできていない。 ・3月に卒業者がいるため、スムーズな情報提供ができるようにまとめておきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・活動内容の中ではない。今後は他の子どもと活動ができるような機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	・大野城市のネットワーク会議に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	・もっと実力をつけて、ペアトレや保護者様向けの相談会ができるようになりたい。	
保護者への 説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	・保護者様の意見の尊重や、子どもの意向についてまだまだ確認する機会が足りていないと感じるので、できる限り細かく聞き取りできるように時間を作る。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・送迎時やLINEなどには返せているが、面談には至っていない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	・イベントなどで保護者様が様子を見にこられることはあるが、保護者様同士が交流する機会を作ることはほとんどできていない。保護者会は開催できていない。 ・夏祭りや軽トラ市などで保護者様と関わる機会を設けている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・通信の更新が止まってしまっているから、改めて丁寧に組み直していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・ SUN FREE COFFEEや軽トラ市を通して、地域貢献を意識した活動ができています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・ 一年に1～2回今後も実施していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・ 非常災害に備えて、回数を増やしてもいいかもしれない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・ アレルギーチェックはできている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・ 他害、自傷が見られる子どもに対しては契約時に確認し、その場で説明を行うようにしている。身体拘束をするような行動がある場合のみ記載をしたが、記載は行っていない。